

c-arcとは

千葉大学附属図書館がウェブ上で公開・提供するコンテンツを学術リソースとして広く使ってもらうためにコレクションとしてまとめたものです。

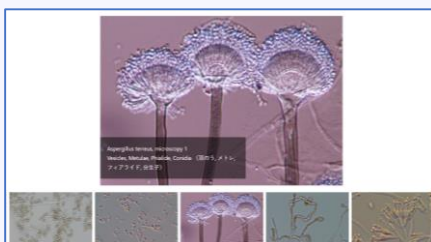
江戸・明治期の和漢医書・本草書・西洋医学書、真菌医学研究センター提供の病原性カビ・酵母等の画像集、薬学部名誉教授が収集した植物標本など、多彩な画像を収録しています。

収録コンテンツ（一部）



古医書コレクション

大槻玄沢による「重訂解体新書」や日本最初の解剖書である「蔵志」をはじめとした貴重書の画像を収録。



真菌・放線菌 ギャラリー

病原性カビ・酵母・キノコおよび病原性放線菌の画像集。同種の菌について、肉眼で見える大きさのコロニー、顕微鏡、走査電子顕微鏡の最大3種類の画像を収録している。



萩庭植物標本 データベース

故萩庭丈壽名誉教授が生涯にわたり採集・収集したさく葉（押し葉）標本のデータベース。日本全土の顕花植物の約95%を含むと言われる。



▲ IIF画像ビューワ例。他機関で公開している貴重書など、他の画像との見比べが容易にできる

これらの画像データは、International Image Interoperability Framework (IIF) という技術を用いて、学術リソースとして簡単に利活用できる環境を提供しています。

c-arcの画像をしてみる

